

——かごめかごめの遊び——

このわらべうたは、全国の子どもたちに歌われ遊ばれていることは前にもお話ししましたが、遊びはほとんど同じです。

準備：一列円陣で、一人のリーダーが円の中に入り、目をつむって、しゃがんでいます。

方法：円周の子どもは、互いに手をとって、歌いながら円周を歩き、「うしろの正面だあれ」の「れ」のときに、円心に向って、円周の子どもは、一斉にしゃがみます。このとき中のリーダーは、自分のうしろの人が誰であるかあてます。あたったらその子どもとリーダーとがかわってくりかえしていくども遊びつづけます。

昔の遊びの画を見ますと、三人組の中に一人目をつむってしゃがみ、あとの二人は手を合わせてぐるぐるまわっていますので、うしろの正面にきた子どもはすぐわかったと思います。

わらべうたという伝承環境は日本人の生活からしだいに忘れられようとしています。しかし地下水のように土地にしみこんでいますので、ちょっとほりさげると、こんこんと泉のようにわきでてきます。そして子どもたちにもいつまでも歌い遊ばれていくと思います。

(日本女子体育大学)

幼児の教育 第七十三巻 第九号

九月号 © 定価一七〇円

昭和四十九年八月二十五日印刷
昭和四十九年九月 一 月発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所
所フレーベル館にお願いいたします